

カリキュラム・マップ【文学研究科（修士課程）日本語日本文学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時まで身につける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	(1) 日本語、日本文学・文化について深い知識と理解力を身につけていること。 (2) 日本語、日本文学・文化に関する十分な知識に基づく論理的思考力を身につけていること。 (3) 日本語、日本文学・文化研究の領域における優れた研究能力・論文作成能力を身につけていること。
--------------------------	--

◎「学修成果の要素と強く関連」 ○「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (深い知識と理解力)	DP2 (論理的思考力)	DP3 (研究能力・論文作成能力)
1	日本語学特講	◎	○	○
2	日本語学特講演習	○	○	◎
3	実践的日本語研究Ⅰ	◎	○	○
4	実践的日本語研究Ⅱ	○	○	◎
5	上代文学特講	◎	○	○
6	上代文学特講演習	○	○	○
7	中古文学特講	○	○	○
8	中古文学特講演習	○	○	○
9	中世文学特講	◎	○	○
10	中世文学特講演習	○	○	◎
11	近世文学特講	◎	○	○
12	近世文学特講演習	○	○	◎
13	近現代文学特講	◎	○	○
14	近現代文学特講演習	○	○	◎
15	中国文学特講	◎	○	○
16	中国文学特講演習	○	○	◎
17	日本文化特講	◎	○	○
18	日本文化特講演習	○	○	◎
37	特殊問題特論	○	○	○

カリキュラム・マップ【文学研究科（博士後期課程）日本語日本文学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時までに身につける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) 日本語、日本文学・文化について深い知識と理解力を身につけていること。 (2) 日本語、日本文学・文化に関する十分な知識に基づく論理的思考力を身につけていること。 (3) 日本語、日本文学・文化研究の領域における優れた研究能力・論文作成能力を身につけていること。 (4) 高度な専門知識に基づく独創的研究成果を生み出す能力を身につけていること。
------------------------------	--

◎「学修成果の要素と強く関連」 ○「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (深い知識と理解力)	DP2 (論理的思考力)	DP3 (研究能力・論文作成能力)	DP4 (独創的研究成果生産能力)
1	日本語学特殊研究	◎	○	○	○
2	日本語学特殊研究演習	○	○	◎	○
3	上代文学特殊研究	○	○	○	○
4	上代文学特殊研究演習	○	○	○	○
5	中古文学特殊研究	○	○	○	○
6	中古文学特殊研究演習	○	○	○	○
7	中世文学特殊研究	◎	○	○	○
8	中世文学特殊研究演習	○	○	○	○
9	近世文学特殊研究	◎	○	○	○
10	近世文学特殊研究演習	○	○	◎	○
11	近現代文学特殊研究	○	○	◎	○
12	近現代文学特殊研究演習	○	○	○	○
13	中国文学特殊研究	◎	○	○	○
14	中国文学特殊研究演習	○	○	◎	○
15	日本文化特殊研究	◎	○	○	○
16	日本文化特殊研究演習	○	○	◎	○

カリキュラム・マップ【文学研究科（修士課程）英語英米文学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時まで身に付ける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) 広く国際的な視野を持ち、英文学、米文学、英米研究、英語学、応用言語学のいずれかの専門分野を中心としつつ、関連領域も含めた幅広い学識と理解力を身につけていること。 (2) 十分な英語運用能力に基づきながら、英文学、米文学、英米研究、英語学、応用言語学のいずれかの専門分野における問題発見能力、分析能力、論理的思考力を身につけていること。 (3) 十分な英語運用能力に基づきながら、英文学、米文学、英米研究、英語学、応用言語学のいずれかの専門分野における優れた研究能力及び論文作成能力を身につけていること。
------------------------------	---

◎「学修成果の要素と強く関連」 ○「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (学識と理解力)	DP2 (問題発見能力・分析能力・論理的思考)	DP3 (研究能力・論文作成能力)
1	英文学特講Ⅰ	◎	○	○
2	英文学特講Ⅰ演習	○	○	◎
3	英文学特講Ⅱ	○	◎	○
4	英文学特講Ⅱ演習	○	○	◎
5	英文学特講Ⅲ	◎	◎	
6	英文学特講Ⅲ演習		◎	◎
7	英語学特講Ⅰ	◎	◎	
8	英語学特講Ⅰ演習		◎	◎
9	英語学特講Ⅱ	◎	◎	
10	英語学特講Ⅱ演習		◎	◎
11	英語学特講Ⅲ	◎	◎	
12	英語学特講Ⅲ演習		◎	◎
13	米文学特講Ⅰ	◎	◎	
14	米文学特講Ⅰ演習		◎	◎
15	米文学特講Ⅱ	◎	◎	
16	米文学特講Ⅱ演習		◎	◎
17	米文学特講Ⅲ	◎		◎
18	米文学特講Ⅲ演習		◎	◎
19	英米研究特講	○	○	◎
20	英米研究特講演習	○	○	◎
21	応用言語学特講	◎	◎	
22	応用言語学特講演習		◎	◎
23	英語学特殊問題研究	◎	◎	
24	特殊問題特論	◎	◎	

カリキュラム・マップ【文学研究科（博士後期課程）英語英米文学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時まで身に付ける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) 広く国際的な研究・社会の現状を踏まえながら、英文学、米文学、英米研究、英語学、応用言語学のいずれかの専門分野に関する高度な専門的学識と理解力を身につけていること。 (2) 卓越した英語運用能力に基づき、英文学、米文学、英米研究、英語学、応用言語学のいずれかの専門分野における高度な問題発見能力、分析能力、論理的思考力を身につけていること。 (3) 卓越した英語運用能力に基づき、英文学、米文学、英米研究、英語学、応用言語学のいずれかの専門分野における極めて優れた研究能力及び論文作成能力を身につけていること。
------------------------------	--

◎「学修成果の要素と強く関連」 ○「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (高度な専門的学識と理解力)	DP2 (高度な問題発見能力・分析能力・論理的思考)	DP3 (究めて優れた研究能力・論文作成能力)
1	英文学特殊研究Ⅰ	◎	○	○
2	英文学特殊研究Ⅰ演習	○	◎	◎
3	英文学特殊研究Ⅱ	◎	◎	
4	英文学特殊研究Ⅱ演習		◎	◎
5	英文学特殊研究Ⅲ	◎	◎	
6	英文学特殊研究Ⅲ演習		◎	◎
7	米文学特殊研究Ⅰ	◎	◎	
8	米文学特殊研究Ⅰ演習		◎	◎
9	米文学特殊研究Ⅱ	◎	◎	
10	米文学特殊研究Ⅱ演習		◎	◎
11	米文学特殊研究Ⅲ	◎		◎
12	米文学特殊研究Ⅲ演習		◎	◎
13	英語学特殊研究Ⅰ	◎	◎	
14	英語学特殊研究Ⅰ演習		◎	◎
15	英語学特殊研究Ⅱ	◎	◎	
16	英語学特殊研究Ⅱ演習		◎	◎
17	英語学特殊研究Ⅲ	◎	◎	
18	英語学特殊研究Ⅲ演習		◎	◎
19	英米文化特殊研究	◎	◎	
20	英米文化特殊研究演習		◎	◎
21	応用言語学特殊研究	◎	◎	
22	応用言語学特殊研究演習		◎	◎

カリキュラム・マップ【文学研究科（修士課程）哲学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時まで身に付ける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) 哲学・倫理学・論理学・日本思想史・美学などの専門分野に関する体系的な知識と理解力を身につけていること。 (2) 哲学・倫理学・論理学・日本思想史・美学など、各専門に応じた語学力、研究・論文作成能力を備えていること。 (3) 哲学・倫理学・論理学・日本思想史・美学などの諸側面についての問題発見能力を身につけていること。 (4) 哲学・倫理学・論理学・日本思想史・美学などの諸問題についての論理的思考ができる能力・解決能力を身につけていること。 (5) アカデミックな吟味に耐える説得力のある議論を展開する能力を備えていること。
------------------------------	---

◎「学修成果の要素と強く関連」 ○「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (知識・理解力)	DP2 (語学力・研究/論文作成能力)	DP3 (問題発見能力)	DP4 (論理的思考・解決能力)	DP5 (議論展開能力)
1	古代・中世哲学特講	◎			◎	
2	古代・中世哲学特講演習		◎	○		○
3	近代・現代哲学特講	◎			◎	
4	近代・現代哲学特講演習		◎	○		○
5	哲学方法論特講	◎			◎	
6	哲学方法論特講演習		◎	○		○
7	実践哲学特講	◎			◎	
8	実践哲学特講		◎	○		○
9	日本精神史特講	◎			◎	
10	日本精神史特講演習		◎	○		○
11	美学特講	◎			◎	
12	美学特講演習		◎	○		○
13	教育学特講	◎			◎	
14	特殊問題特論	◎				

カリキュラム・マップ【文学研究科（博士後期課程）哲学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時までには身につける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) 哲学・倫理学・論理学・日本思想史・美学などの専門分野に関する体系的な知識と卓越した理解力を身につけていること。 (2) 哲学・倫理学・論理学・日本思想史・美学など、各専門に応じ、卓越した語学力、研究・論文作成能力を備えていること。 (3) 哲学・倫理学・論理学・日本思想史・美学などの諸側面についての独創的な問題発見能力を身につけていること。 (4) 哲学・倫理学・論理学・日本思想史・美学などの諸問題についての独創的な思考ができる能力・解決能力を身につけていること。 (5) 学術的に国際的研究水準に達する独創的で新たな知見を含み、学会の発展に寄与する高度な研究成果を伴う博士論文を執筆する能力を備えていること。
------------------------------	---

◎「学修成果の要素と強く関連」 ○「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (体系的知識・卓越した理解力)	DP2 (卓越した語学力・研究/論文作成能力)	DP3 (独創的な問題発見能力)	DP4 (独創的思考・解決能力)	DP5 (博士論文執筆能力)
1	古代中世哲学特殊研究	◎		○	○	
2	古代中世哲学特殊研究演習		◎			◎
3	近代現代哲学特殊研究Ⅰ	◎		○	○	
4	近代現代哲学特殊研究Ⅰ演習		◎			◎
5	近代現代哲学特殊研究Ⅱ	◎		○	○	
6	近代現代哲学特殊研究Ⅱ演習		◎			◎
7	近代・現代哲学特殊研究Ⅲ	◎		○	○	
8	近代・現代哲学特殊研究Ⅲ演習		◎			◎
9	哲学方法論特殊研究	◎		○	○	
10	哲学方法論特殊研究演習		◎			◎
11	実践哲学特殊研究	◎		○	○	
12	実践哲学特殊研究演習		◎			◎
13	日本精神史特殊研究	◎		○	○	
14	日本精神史特殊研究演習		◎			◎
15	教育哲学特殊研究	◎		○	○	

カリキュラム・マップ【文学研究科（修士課程）歴史学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時まで身に付ける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) 日本及び世界各地における歴史について、幅広い学識と理解力を身につけていること。 (2) (1) についての従来の研究成果を批判的に検討して研究テーマを設定し、そのための史料収集と批判を行う能力を身につけていること。 (3) 論理的な洞察力をもって諸事象を体系的に把握する能力を有していること。 (4) (1) (2) (3) を踏まえて論文を作成し、発表する能力を身につけていること。
------------------------------	---

◎ 「学修成果の要素と強く関連」 ○ 「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (学識と理解力)	DP2 (批判能力)	DP3 (体系把握能力)	DP4 (論文作成・発表能力)
1	史学理論・史学史特講	◎	○	○	
2	史学理論・史学史特講演習		○	○	◎
3	日本史特講Ⅰ	◎	○	○	
4	日本史特講Ⅰ演習		○	○	◎
5	日本史特講Ⅱ	◎	○	○	
6	日本史特講Ⅱ演習		○	○	◎
7	日本史特講Ⅲ	◎	○	○	
8	日本史特講Ⅲ演習		○	○	◎
9	日本史特講Ⅳ	◎	○	○	
10	日本史特講Ⅳ演習		○	○	◎
11	日本史特講Ⅴ	◎	○	○	
12	日本史特講Ⅴ演習		○	○	◎
13	日本史特講Ⅵ	◎	○	○	
14	日本史特講Ⅵ演習		○	○	◎
15	東洋史特講Ⅰ	◎	○	○	
16	東洋史特講Ⅰ演習		○	○	◎
17	東洋史特講Ⅱ	◎	○	○	
18	東洋史特講Ⅲ	◎	○	○	
19	東洋史特講Ⅲ演習		○	○	◎
20	東洋史特講Ⅳ	◎	○	○	
21	東洋史特講Ⅳ演習		○	○	◎
22	西洋史特講Ⅰ	◎	○	○	
23	西洋史特講Ⅰ演習		○	○	◎
24	西洋史特講Ⅱ	◎	○	○	
25	西洋史特講Ⅲ	◎	○	○	
26	西洋史特講Ⅲ演習		○	○	◎
27	西洋史特講Ⅳ	◎	○	○	
28	西洋史特講Ⅴ	◎	○	○	
29	西洋史特講Ⅴ演習		○	○	◎
30	アジア考古学特講Ⅰ	◎	○	○	
31	アジア考古学特講Ⅰ演習		○	○	◎
32	アジア考古学特講Ⅱ	◎	○	○	
33	アジア考古学特講Ⅱ演習		○	○	◎
34	特殊問題特論	◎			

カリキュラム・マップ【文学研究科（博士後期課程）歴史学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時まで身に付ける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) 日本及び世界各地域における歴史について、幅広い学識と理解力を身につけ、歴史的事象を正確に捉える能力を有していること。 (2) (1) についての従来の研究成果を批判的に検討して研究テーマを設定し、そのための史料収集と批判を行うことで新たな歴史像を提起できる能力を身につけていること。 (3) 論理的な洞察力をもって諸社会を体系的に把握する能力を有していること。 (4) (1) (2) (3) を踏まえて論文を作成し、発表する能力を身につけていること。
------------------------------	---

◎ 「学修成果の要素と強く関連」 ○ 「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (幅広い学識と理解力)	DP2 (新たな歴史像の提起能力)	DP3 (体系把握能力)	DP4 (論文作成・発表能力)
1	日本史特殊研究Ⅰ	◎		◎	
2	日本史特殊研究Ⅰ演習		◎		◎
3	日本史特殊研究Ⅱ	◎		◎	
4	日本史特殊研究Ⅱ演習		◎		◎
5	日本史特殊研究Ⅲ	◎		◎	
6	日本史特殊研究Ⅲ演習		◎		◎
7	日本史特殊研究Ⅳ	◎		◎	
8	日本史特殊研究Ⅳ演習		◎		◎
9	日本史特殊研究Ⅴ	◎		◎	
10	東洋史特殊研究Ⅰ	◎		◎	
11	東洋史特殊研究Ⅰ演習		◎		◎
12	東洋史特殊研究Ⅱ	◎		◎	
13	東洋史特殊研究Ⅲ	◎		◎	
14	東洋史特殊研究Ⅲ演習		◎		◎
15	東洋史特殊研究Ⅳ	◎		◎	
16	東洋史特殊研究Ⅳ演習		◎		◎
17	東洋史特殊研究Ⅴ	◎		◎	
18	東洋史特殊研究Ⅴ演習		◎		◎
19	西洋史特殊研究Ⅰ	◎		◎	
20	西洋史特殊研究Ⅰ演習		◎		◎
21	西洋史特殊研究Ⅱ	◎		◎	
22	西洋史特殊研究Ⅱ演習		◎		◎
23	西洋史特殊研究Ⅲ	◎		◎	
24	西洋史特殊研究Ⅳ	◎		◎	
25	西洋史特殊研究Ⅴ	◎		◎	
26	西洋史特殊研究Ⅴ演習		◎		◎
27	東アジア考古学特殊研究Ⅰ	◎		◎	
28	東アジア考古学特殊研究Ⅰ演習		◎		◎
29	東アジア考古学特殊研究Ⅱ	◎		◎	
30	東アジア考古学特殊研究Ⅱ演習		◎		◎
31	東アジア考古学特殊研究Ⅲ	◎		◎	
32	史料学特殊研究Ⅰ	◎		◎	
33	史料学特殊研究Ⅰ演習		◎		◎
34	史料学特殊研究Ⅱ	◎		◎	
35	史料学特殊研究Ⅱ演習		◎		◎

カリキュラム・マップ【文学研究科（修士課程）地理学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時まで身に付ける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) 地理学に関する学識を身につけていること。 (2) フィールドワークや空間分析に関する能力を身につけていること。 (3) 地域や環境をめぐる課題を対象とした実証的な研究を行い、その成果を論文にまとめる能力を有していること。
------------------------------	--

◎「学修成果の要素と強く関連」 ○「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (学識)	DP2 (空間分析能力)	DP3 (研究能力・論文作成能力)
1	人文地理学特講Ⅰ	◎	◎	
2	人文地理学特講Ⅰ演習		◎	◎
3	人文地理学特講Ⅱ	◎	◎	
4	人文地理学特講Ⅱ演習		◎	◎
5	人文地理学特講Ⅲ	◎	◎	
6	人文地理学特講Ⅲ演習		◎	◎
7	人文地理学特講Ⅳ	◎	◎	
8	人文地理学特講Ⅴ	◎	◎	
9	人文地理学特講Ⅵ	◎	◎	
10	自然地理学特講Ⅰ	◎	◎	
11	自然地理学特講Ⅰ演習		◎	◎
12	自然地理学特講Ⅱ	◎	◎	
13	自然地理学特講Ⅱ演習		◎	◎
14	自然地理学特講Ⅲ	◎	◎	
15	自然地理学特講Ⅲ演習		◎	◎
16	自然地理学特講Ⅳ	◎	◎	
17	自然地理学特講Ⅳ演習		◎	◎
18	地域システム論特講Ⅰ	◎	◎	
19	地域システム論特講Ⅱ	◎	◎	
20	地域システム論特講Ⅱ演習		◎	◎
21	地域システム論特講Ⅲ	◎	◎	
22	地域システム論特講Ⅳ	◎	◎	
23	地域システム論特講Ⅳ演習		◎	◎
24	地域研究法	◎	◎	
25	特殊問題特論	◎		

カリキュラム・マップ【文学研究科（博士後期課程）地理学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時までに身につける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) 地理学に関する深い学識を身につけていること。 (2) フィールドワークや空間分析に対する高度な能力を身につけ、独創的な研究に応用できること。 (3) 学術的に新たな知見が認められ、地理学の発展に寄与する成果を含む論文を作成する能力を身につけていること。
------------------------------	--

◎「学修成果の要素と強く関連」 ○「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (深い学識)	DP2 (空間分析の高度な能力)	DP3 (学術的新知見・論文作成能力)
1	地域論特殊研究Ⅰ	◎	◎	
2	地域論特殊研究Ⅰ演習		◎	◎
3	地域論特殊研究Ⅱ	◎	◎	
4	地域論特殊研究Ⅱ演習		◎	◎
5	地域論特殊研究Ⅲ	◎	◎	
6	地域論特殊研究Ⅲ演習		◎	◎
7	地域論特殊研究Ⅳ	◎	◎	
8	地域論特殊研究Ⅳ演習		◎	◎
9	地球環境論特殊研究Ⅰ	◎	◎	
10	地球環境論特殊研究Ⅰ演習		◎	◎
11	地球環境論特殊研究Ⅱ	◎	◎	
12	地球環境論特殊研究Ⅱ演習		◎	◎
13	地球環境論特殊研究Ⅲ	◎	◎	
14	地球環境論特殊研究Ⅲ演習		◎	◎
15	地球環境論特殊研究Ⅳ	◎	◎	
16	地球環境論特殊研究Ⅳ演習		◎	◎
17	地域システム論特殊研究	◎	◎	
18	地域システム論特殊研究演習		◎	◎
19	地域特別研究法	◎	◎	

カリキュラム・マップ【文学研究科（修士課程）社会学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時までに身につける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) グローバルな視野を持って現代社会の構造を総合的・体系的に考究できる学識と理解力を身につけていること。 (2) 現実的リアリティのあるテーマを発掘し、実証研究と結びつく高度な調査・分析能力を身につけていること。 (3) 社会学の各専門領域における理論と実証を総合的に身につけ、高度な専門性を有する修士論文を作成する能力を身につけていること。
------------------------------	---

◎「学修成果の要素と強く関連」 ○「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (学識と理解力)	DP2 (調査分析能力)	DP3 (論文作成能力)
1	社会学特講Ⅰ	◎	◎	
2	社会学特講Ⅰ演習		◎	◎
3	社会学特講Ⅱ	◎	◎	
4	社会学特講Ⅱ演習		◎	◎
5	社会学特講Ⅲ	◎	◎	
6	社会学特講Ⅲ演習		◎	◎
7	社会学特講Ⅳ	◎	◎	
8	社会学特講Ⅳ演習		◎	◎
9	社会学特講Ⅴ	◎	◎	
10	社会学特講Ⅴ演習		◎	◎
11	社会学特講Ⅵ	◎	◎	
12	社会学特講Ⅵ演習		◎	◎
13	社会学特講Ⅶ	◎	◎	
14	社会学特講Ⅶ演習		◎	◎
15	社会学特講Ⅷ	◎	◎	
16	社会学特講Ⅷ演習		◎	◎
17	社会学特講Ⅸ	◎	◎	
18	社会学特講Ⅸ演習		◎	◎
19	社会学特講Ⅹ	◎	◎	
20	社会学特講Ⅹ演習		◎	◎
21	社会学特講Ⅺ	◎	◎	
22	社会学特講Ⅺ演習		◎	◎
23	社会学特講Ⅻ	◎	◎	
24	社会学特講Ⅻ演習		◎	◎
25	社会学特講Ⅼ	◎	◎	
26	社会学特講Ⅼ演習		◎	◎
27	社会学特講Ⅽ	◎	◎	
28	社会学特講Ⅽ演習		◎	◎
29	社会学特講Ⅾ	◎	◎	
30	社会学特講Ⅾ演習		◎	◎
31	社会学特講ⅩⅥ	◎	◎	
32	社会学特講ⅩⅥ演習		◎	◎
33	社会学特講ⅩⅦ	◎	◎	
34	社会学特講ⅩⅦ演習		◎	◎
35	社会調査実習Ⅰ	◎	◎	
36	社会調査実習Ⅱ	◎	◎	
37	社会調査実習Ⅲ	◎	◎	
38	特殊問題特論	◎		

カリキュラム・マップ【文学研究科（博士後期課程）社会学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時まで身に付ける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) グローバルな視野を持って現代社会の構造を総合的・体系的に考究できる学識と理解力を身につけていること。 (2) 社会学の各専門領域における理論と実証をより高度に身につけ、独創的な研究に応用できる能力を身につけていること。 (3) 学術的に新たな知見が認められ、社会学の発展に寄与する研究成果を含む博士論文を作成する能力を身につけていること。
------------------------------	---

◎「学修成果の要素と強く関連」 ○「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (学識と理解力)	DP2 (理論/実証修得・独創的応用能力)	DP3 (博士論文作成能力)
1	社会学特殊研究Ⅰ	◎	◎	
2	社会学特殊研究Ⅰ演習		◎	◎
3	社会学特殊研究Ⅱ	◎	◎	
4	社会学特殊研究Ⅱ演習		◎	◎
5	社会学特殊研究Ⅲ	◎	◎	
6	社会学特殊研究Ⅲ演習		◎	◎
7	社会学特殊研究Ⅳ	◎	◎	
8	社会学特殊研究Ⅳ演習		◎	◎
9	社会学特殊研究Ⅴ	◎	◎	
10	社会学特殊研究Ⅴ演習		◎	◎
11	社会学特殊研究Ⅵ	◎	◎	
12	社会学特殊研究Ⅵ演習		◎	◎
13	社会学特殊研究Ⅶ	◎	◎	
14	社会学特殊研究Ⅶ演習		◎	◎
15	社会学特殊研究Ⅷ	◎	◎	
16	社会学特殊研究Ⅷ演習		◎	◎
17	社会学特殊研究Ⅸ	◎	◎	
18	社会学特殊研究Ⅸ演習		◎	◎
19	社会学特殊研究Ⅹ	◎	◎	
20	社会学特殊研究Ⅹ演習		◎	◎
21	社会学特殊研究Ⅺ	◎	◎	
22	社会学特殊研究Ⅺ演習		◎	◎
23	社会学特殊研究Ⅻ	◎	◎	
24	社会学特殊研究Ⅻ演習		◎	◎
25	社会学特殊研究ⅫⅢ	◎	◎	
26	社会学特殊研究ⅫⅢ演習		◎	◎
27	社会学特殊研究ⅫⅣ	◎	◎	
28	社会学特殊研究ⅫⅣ演習		◎	◎
29	社会学特殊研究ⅫⅤ	◎	◎	
30	社会学特殊研究ⅫⅤ演習		◎	◎
31	社会学特殊研究ⅫⅥ	◎	◎	
32	社会学特殊研究ⅫⅥ演習		◎	◎

カリキュラム・マップ【文学研究科（修士課程）心理学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時まで身に付ける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) 心理学に関する学識と理解力 (2) 心理学における研究能力及び論文作成能力 (3) 心理学についての問題発見及び解決能力 (4) 心理学に関わる諸問題について論理的思考ができる能力
------------------------------	---

◎ 「学修成果の要素と強く関連」 ○ 「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (学識と理解力)	DP2 (研究能力・論文作成能力)	DP3 (問題発見・解決能力)	DP4 (論理的思考)
1	基礎心理学特講ⅠA	◎		○	○
2	基礎心理学特講ⅠB	◎		○	○
3	基礎心理学特講ⅡA	◎		○	○
4	基礎心理学特講ⅡB	◎		○	○
5	基礎心理学特講ⅢA	◎		○	○
6	基礎心理学特講ⅢB	◎		○	○
7	基礎心理学特講ⅣA	◎		○	○
8	基礎心理学特講ⅣB	◎		○	○
9	基礎心理学特講ⅤA	◎		○	○
10	基礎心理学特講ⅤB	◎		○	○
11	基礎心理学特講ⅥA	◎		○	○
12	基礎心理学特講ⅥB	◎		○	○
13	社会心理学特講ⅠA	◎		○	○
14	社会心理学特講ⅠB	◎		○	○
15	社会心理学特講ⅡA	◎		○	○
16	社会心理学特講ⅡB	◎		○	○
17	発達心理学特講ⅠA	◎		○	○
18	発達心理学特講ⅠB	◎		○	○
19	発達心理学特講ⅡA	◎		○	○
20	発達心理学特講ⅡB	◎		○	○
21	臨床心理学特講ⅠA	◎		○	○
22	臨床心理学特講ⅠB	◎		○	○
23	臨床心理学特講ⅡA	◎		○	○
24	臨床心理学特講ⅡB	◎		○	○
25	臨床心理学特講ⅢA	◎		○	○
26	臨床心理学特講ⅢB	◎		○	○
27	臨床心理学特講ⅣA	◎		○	○
28	臨床心理学特講ⅣB	◎		○	○
29	臨床心理学特講ⅤA	◎		○	○
30	臨床心理学特講ⅤB	◎		○	○
31	臨床心理学特講ⅥA	◎		○	○
32	臨床心理学特講ⅥB	◎		○	○
33	臨床心理学特講ⅦA	◎		○	○
34	臨床心理学特講ⅦB	◎		○	○
35	臨床心理学特講ⅧA	◎		○	○
36	臨床心理学特講ⅧB	◎		○	○
37	臨床心理学特講ⅨA	◎		○	○
38	臨床心理学特講ⅨB	◎		○	○

No.	科目名称	DP1 (学識と理解力)	DP2 (研究能力・論文作成能力)	DP3 (問題発見・解決能力)	DP4 (論理的思考)
39	臨床心理学特講 X A	◎		○	○
40	臨床心理学特講 X B	◎		○	○
41	臨床心理学特講 X I A	◎		○	○
42	臨床心理学特講 X II A	◎		○	○
43	臨床心理学特講 X II B	◎		○	○
44	臨床心理学特講 X III A	◎		○	○
45	臨床心理学特講 X III B	◎		○	○
46	臨床心理実習 I A	◎		○	○
47	臨床心理実習 I B	◎		○	○
48	臨床心理実習 II A	◎		○	○
49	臨床心理実習 II B	◎		○	○
50	心理実践実習	◎		○	○
51	臨床心理基礎実習 A	◎		○	○
52	臨床心理基礎実習 B	◎		○	○
53	論文指導		◎		◎
54	特殊問題特論	◎			

カリキュラム・マップ【文学研究科（博士後期課程）心理学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時までに身につける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) 心理学に関する深い学識と理解力 (2) 心理学における優れた研究能力及び論文作成能力 (3) 心理学についての優れた問題発見及び解決能力 (4) 心理学に関わる諸問題について論理的思考ができる能力 (5) 心理学に関する高度な専門知識に基づき、独創的な研究成果を生み出す能力
------------------------------	---

◎「学修成果の要素と強く関連」 ○「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (深い学識と理解力)	DP2 (優れた研究能力・論文作成能力)	DP3 (優れた問題発見・解決能力)	DP4 (論理的思考)	DP5 (独創的研究成果生産能力)
1	基礎心理学特殊研究Ⅰ	◎			◎	
2	基礎心理学特殊研究Ⅱ	◎			◎	
3	基礎心理学特殊研究Ⅲ	◎			◎	
4	基礎心理学特殊研究Ⅳ	◎			◎	
5	基礎心理学特殊研究Ⅴ	◎			◎	
6	基礎心理学特殊研究Ⅵ	◎			◎	
7	社会心理学特殊研究Ⅰ	◎			◎	
8	社会心理学特殊研究Ⅱ	◎			◎	
9	発達心理学特殊研究Ⅰ	◎			◎	
10	発達心理学特殊研究Ⅱ	◎			◎	
11	臨床心理学特殊研究Ⅰ	◎			◎	
12	臨床心理学特殊研究Ⅱ	◎			◎	
13	臨床心理学特殊研究Ⅲ	◎			◎	
14	臨床心理学特殊研究Ⅳ	◎			◎	
15	臨床心理学特殊研究Ⅴ	◎			◎	
16	臨床心理学特殊研究Ⅵ	◎			◎	
17	研究論文指導		◎	○		○

カリキュラム・マップ【文学研究科（修士課程）ジャーナリズム学専攻】

大学院におけるカリキュラム・マップは、各研究科の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」で示された修了時までに身につける資質・能力と授業科目との対応関係を示すものです。

カリキュラム・マップを用いることで、学修目標とカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようになり、大学院教育課程の質向上だけでなく、専修大学における最大の教育目標である「社会知性の開発」を可視化することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	(1) ジャーナリズム学の専門領域における理論的知識と職業的倫理を修得していること。 (2) ジャーナリズム学の対象領域や関連諸分野に関する幅広い学識を修得していること。 (3) ジャーナリズム学の諸課題を主体的に探究するための研究能力を修得していること。
------------------------------	--

◎「学修成果の要素と強く関連」 ○「学修成果の要素と関連」

No.	科目名称	DP1 (理論的知識・職業的倫理)	DP2 (幅広い学識)	DP3 (研究能力)
1	ジャーナリズム学総論	◎	○	○
2	ジャーナリズム法制倫理	◎	○	○
3	ジャーナリズム研究	○	○	◎
4	アーカイブ研究	○	○	◎
5	スポーツインテリジェンス研究	○	○	◎
6	ジャーナリズム特論	○	○	◎
7	映像・ウェブジャーナリズム特論	○	○	◎
8	メディア社会特論	○	○	◎
9	広告学特論	○	○	◎
10	心理・身体情報特論	○	○	◎
11	スポーツ情報戦略特論	○	○	◎
12	図書館情報学特論	○	○	◎
13	博物館資料学特論	○	○	◎
14	データジャーナリズム演習	○	○	◎
15	デジタル情報表現演習	○	○	◎
16	ジャーナリズム学研究法	○	○	◎
17	ジャーナリズム学特別研究	○	○	◎
24	特殊問題特論	◎		